

今日のテーマは『乳児期、学童期の歯の特徴』です。

この時期の口の中は、乳歯と永久歯が入り混じり、仕上げ磨きもしづらくなっています。又、生えたての歯もあり、虫歯になりやすい状態です。

今回は子供たちの口の中の特徴やしくみを紹介します。

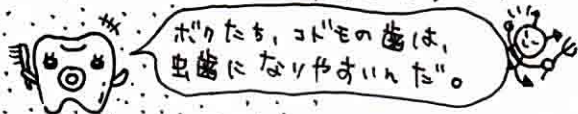
## 乳歯と永久歯の違いって!?

### ①大きさ

★乳歯の大きさと比べて永久歯は約1.5倍ほど。なので、乳歯の歯並びは少しすき間があっても大丈夫！  
(すき間がない場合もあるが成長していくのであまり気にしなくてもいいですよ)

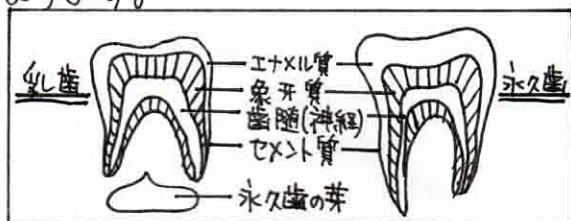
### ②質

★乳歯は歯の表面(エナメル質)が弱く、永久歯と比べると虫歯の進行が早い!!  
(生えたての永久歯は虫歯になりやすいです)



### ③歯のしくみ

★歯のしくみはほぼ同じです。乳歯が1年数ヶ月で生えてくるのに対し、永久歯は5~6年かけて、歯肉の中でじっくり育まれます。エナメル質や象牙質の厚みは乳歯の2倍あります。数も乳歯は20本ですが、永久歯は28本。親知らずを含めると32本になります。



## 「これで大丈夫!」Q&A

Q 乳歯がぐらついてきたら、抜いたほうがいいの?

↳ A. 歯は自然に生えかわるもの。抜かなければいけないということはありません。ただ、乳歯の位置と永久歯の位置がずれていると、永久歯が生えにくかったり、歯並びに支障をきたす原因になるので、抜歯することもあります。

Q 生えたての永久歯。なんで乳歯より黄色っぽい!?

↳ A. 永久歯は乳歯よりもエナメル質の透明度が高いため、中の象牙質がやや透けて見えます。(象牙質は、少し黄色みを帯びています。) なので、一般的に永久歯は乳歯に比べて少し黄色っぽく見えます。

Q 10歳の子供と比べて永久歯が生えるのが遅いんだけど。。。大丈夫!?

↳ A. 個人差があって、必ずしも6歳に生えはじめるとはかぎりません。乳歯の生えはじめが遅かったお子さんは永久歯も遅いようです。

Q 永久歯が生えてきたけど、なんだか色がまたらな感じがする。なんで!?

↳ A. あごの中で永久歯が成長するとき、何かの障害を受けて歯のかたちや構造がしっかりとできないままに生えてくる場合があります。(←エナメル質形成不全) その歯は、かたちがおかしかったり、歯がまたらったり、黄色味が強かったりします。正常なエナメル質と比べると、歯の質が弱いので虫歯になりやすいですが、食生活に気を付けて、ていねいに磨いていけば大丈夫です。